

平成30年元旦  
宗教法人 阿蘇神社

各位

阿蘇神社宮司  
阿蘇 治隆(あそ・はるたか)

平成30年を迎えてご挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年も無事に新年を迎えることができました。平成28年の熊本地震被害からまもなく2年を迎えようとしていますが、お陰をもちまして、一昨年の11月に着工しました復旧工事は、広く皆様に支えられながら着実に進んでいます。これも多大なご支援の賜と深く感謝しております。引き続き平成30年もご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

さて、一の神殿ほか重要文化財6棟を対象とした復旧工事は、本年も国・県・阿蘇市の補助事業として、公的支援を受けながら適正に進めてまいります。全壊した楼門の解体格納作業は約1年かけて行われ、昨年11月に完了しました。ただいま膨大な部材の調査、及び補修作業に入っているところです。その他5棟の部分解体修理も順調に進んでいます。今後も経過をホームページ上で報告していきたいと思っております。

また、ご心配をお掛けしています全壊した拝殿の再建と、齋館の復旧につきましては、昨年1月末に指定寄付金事業として承認を得ましたので、その後ご奉賛を募りながら、着工の時機を迎えたときのために準備を進めています。うち昭和3年に建築された齋館の復旧工事は、お陰をもちまして本年中に実施できる見込みとなりました。改めてご報告申し上げたいと思っております。

社殿の復旧には長い時間を要しますので、しばらく神事を行う環境は損なわれたままとなります。しかし、恒例の神事につきましては、できる限り例年通り執行し、心の拠り所としての役割を果たしてまいりたいと思っております。先人は神事を厳修することで自然を畏れ敬う心を涵養し、その中で災害からも立ち上がってきました。平成30年が、熊本がさらに復興へ大きく前進し、また皆様にとって有意義な一年となりますようお願いいたします。